
今　日　の　力

2025年11月3日～11月9日

翻訳 相坂 純子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

11月3日(月)

咲き誇るブルーボネット*の花

(*編注：アメリカ合衆国南西部に多く見られ、テキサス州の州花。紫や青の花をつける。花びらの形が女性の帽子ボネットに似ていることから名付けられた。)

聖書朗読 ルカの福音書 12:17～34

しかし、きょうは野にあって、あすは炉に投げ込まれる草をさえ、神はこのように裝つてくださるので。ましてあなたがたには、どんなによくしてくださることでしょう。ああ、信仰の薄い人たち。

ルカ 12:28

私はブルーボネットやバターカップの花が咲き始める時季が大好きです。とっても素敵ですよ！ イエス様は“野のユリ”的話をされました。それは、目の前に広がる、私たちが何一つ手を加えていない、神様の創造物の美しさです。私は果てしなく広がる青一色の野原を見ることが大好きです。まさに神様からの素晴らしい贈り物です！

美しい花は神様から頂いた創造と配慮に気付かせてくれます。神様の配慮を思い出すことで安らぎ、不安がなくなります。そしてそれは更に神様のみこころが行われている神の国が私たちの内に、また直ぐそばにあるということを思い起させてくれます。

花の美しさは贅沢で、王の宮殿の飾りや食べ物、衣服や宝石をも超えます。神様は豊かな愛と配慮をもって私たちを気にかけてくださいます。私たちがそれを気に留めるなら、神様がなさることが見えてきます。

ですから、私たちは何を着るか、何を食べるか悩まなくていいのです。野のユリを造られた方を信頼すればいいのです。

讃美歌 166 イエス君は いとうるわし

祈り イエス様、私の周りにあふれる愛を見られることに感謝します。また、私のうちにある御靈による慰めに感謝します。あなたの優しいお気遣いに感謝いたします。イエス様の御名によって。アーメン。



テキサス州 ネダーランド／ジーン・ガン

11月4日(火)

深く掘り下げる

聖書朗読 ルカの福音書 13:1~9

番人は答えて言った。「ご主人。どうか、ことし一年そのままにしてやってください。
木の回りを掘って、肥やしをやってみますから。 ルカ 13:8

私は庭に小さな木を植えようとしたことがあります、地面が根っこや石でぎっしり固まっていることに気が付きました。私がどれだけその木に元気に育ってほしいと願ってもうまくいきませんでした。それで頑張って、必要なないものを掘り出し、土を耕し、成長するためのスペースを作ってやりました。

イエス様は実のならないいちじくの木のたとえ話をされました。主人は切り倒してしまおうと思いましたが、番人には別の考えがありました。番人はまだ何とかなるかもしれませんという可能性を見ました。実を結ぶか否かの違いは時として、すぐに何かを変えてしまうことではなく、忍耐強く意図的に働くことにあるとわかつっていたのです。

私たちの靈的な生き方も同じです。成長はいつも簡単ではありません。時には聖書を、私たちの心を、変化を必要とする困難な場所を掘り起こす必要があります。もしかすると、やめなければいけない習慣や、癒す必要のある傷があるかもしれません。私たちの信仰が乾いてしまったと感じる時、神様に私たちの心の土に働きかけてもらわなければなりません。

嬉しいことに、私たちは忍耐強い番人である神様に仕えています。神様は私たちを直ぐに諦めようとはなさいません。可能性を見てくださいます。私たちが望みさえすれば、神様は掘って耕して肥しをやるという大変な働きをしてくださいます。

聖歌 295 成したまえなが旨

祈り お父様、あなたにしていただく必要のある、私の心の中を掘り起こすことを拒むことがないように助けてください。固い場所をやわらかくし、成長を妨げるものを取り除き、あなたの為に実を結ぶことができますように。イエス様の御名によつて、アーメン。

フロリダ州 デスティン / サラ・クラーク

11月5日(水)

ちびのザアカイが大きくなつた

聖書朗読 ルカの福音書 19:1~10

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。 ルカ 19:10

多くの人はザアカイと言えば“ちび”と思っています。けれども、この世の権力においてはザアカイは決してそんなに小さな人ではありませんでした。取税人のかしらとして、彼は有力者でしたし裕福でした。ザアカイは背が低かったからといって認められていなかったのではないでしょう。彼はイエス様が通るのを知って木に登りました。それをご覧になったイエス様は彼に『ザアカイ、急いで降りてきなさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから。』とおっしゃったのです。

この世の権威を持つザアカイが、イエス様の権威に気が付いたのです。ザアカイは人々から低く見られていました。『これを見て、みなは、「あの方は罪人のところに行って客となられた」と言ってつぶやいた。』のです。

ザアカイがイエス様と一緒に歩いていた時、おそらく彼には不平不満を言う人たちの声が聞こえたのでしょう。そこでザアカイは公に立場をはっきりさせて言いました。『主よ。ご覧ください。私の財産の半分を貧しい人たちに施します。また、だれからでも、私がだまし取った物は、四倍にして返します。』

ザアカイは悔い改めて堂々と振る舞いました。イエス様は、『きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子ですから。』と答えられました。多くのユダヤ人は生まれつき“アブラハムの子孫”であることに自己満足していました。しかしイエス様は従順で謙虚な信仰を求めておられました。イエス様のお言葉をあなた自身に当てはめてみましょう。『あなたの信仰が、あなたを救ったのです。安心して行きなさい。』（編注：ルカ 7:50）

讃美歌 280 わが身ののぞみは

祈り お父様、信じます。不信仰な私たちをお助けください。みめぐみに感謝します。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

テネシー州 スマーナ / ハロルド L・サイモンズ

11月6日(木)

示された代価

聖書朗読 ヨハネの福音書 3:10～21

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ 3:16

人は何かを成し遂げたことを評価する時、どれだけ楽にできたかということより、どれだけの努力と犠牲を要したかに価値を置くことが多いようです。私たちは、心血注いで得た報酬を大事に思います。例えば、私たちは学校で良い成績を得たり、職場で成果を上げたりした時、そのために一生懸命勉強したり働いたりしたからこそ、それに向けて時間やエネルギーを費やし、安らぎや眠りを犠牲にして夢を現実へと変えたからこそ、深く感謝できるのです。私たちの経験や所有物に対する評価は、それに付けられている感情的な値札に正比例しているようです。

私たちは子供の大学の学費を払うために仕事を掛け持ちしている親を知っています。彼らは子供への愛のため、自分たちの快適さを犠牲にしてでも子供の幸せや成功を願います。けれども、その犠牲からなる恩恵にあづかった者は、誰かが私たちの代わりに払ってくれた代価に気付かない、十分に理解できていないことが多いのです。

私の贖いの代価、父なる神様が私の為にどれだけの代価を払ってくださったかと思う時、私は謙虚な気持ちになります。天地創造主の神様は恵み深い愛を、私のような感謝の足りない、受けるに値しない者の為に、あまりにも多くを犠牲にして与えてくださったのです。

聖歌 480 輝く日を仰ぐとき

祈り 全能の父なる神様。私は精一杯あなたを賛美します。あなたの愛をより良く理解できますように、そして今日、その愛を他の人に惜しみなく与えられるようにしてください。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ルイジアナ州 シュリーブポート／アリソン・マーティン

11月7日(金)

あなたは信じますか

聖書朗読 ヨハネの福音書 5:31～40

もしあなたがたがモーセを信じているのなら、わたしを信じたはずです。モーセが書いたのはわたしのことだからです。しかし、あなたがたがモーセの書を信じないのであれば、どうしてわたしのことばを信じるでしょう。

ヨハネ 5:46～47

誰かに「あなたの言うことは信じられない」と言わされたことがありますか。あなたが眞実を証明しようとして何を言おうと何をしようと、彼らは受け入れません。特に自分自身がいかに正直で誠実であるか分かっている時、こうした拒絶はとてもつらいものです。何度も彼らを説得しようとしても、全く上手くいきません。あなたに出来ることは眞実を語ることだけです。

ユダヤ人たちは、イエス様が安息日に癒しを行っただけでなく、ご自身を神と等しくして、神を自分の父と呼んでおられたので、殺そうとしました。（ヨハネ 5:16～18）ヨハネ5章でイエス様は、彼らが聖書を調べていて、そこにイエス様がはっきり示されているのに信じない彼らを責めています。奇跡的なわざを見ても、彼らはイエス様が誰であるかを受け入れませんでした。イエス様はこう言われました。『（あなたがたは） そのみことばをあなたがたのうちにとどめてもいません。父が遣わした者をあなたがたが信じないからです。』（ヨハネ 5:38）

私たちにはみな永遠のいのちをいただけるチャンスがあります。聞いて信じることが、天の父なる神様と御子イエス様を本当に知るための最初の一歩なのです。

聖歌 500 みことばなる ひかりのうち

祈り 主よ、他の人々とあなたの愛を分かち合えるように、私たちの信仰を増してください。もっとあなたを知りたいのです。主の聖なる御名によってお祈りします。アーメン。

ケンタッキー州 マウント・ワシントン／コニー・シンプキンス・トーマス

11月8日（土）

天から下ってきたパン

聖書朗読 ヨハネの福音書 6:41~59

わたしはいのちのパンです。

ヨハネ 6:48

天使がお昼ご飯に何を食べているかは分かりませんが、私の大好きなデザートはエンゼルフードケーキ*です。（*編注：スポンジケーキの一種で、シフォンケーキの原形とされる。）私の誕生日に母は私を驚かせるためにケーキの真ん中の穴に1ドル銀貨を隠してくれていました。

神様は荒野でイスラエルの民に、神様からの食べ物である“エンゼルフード”マナを与えた。それは彼らを養いましたが、彼らは同じ食事に飽きてしまい、不平不満を言い始めました。すると天から別の食べ物ウズラが与えられました。驚きはしませんが、それでもまた不満は続きました。

イエス様がユダヤ人たちに『わたしはいのちのパンです』と言われた時、彼らもつぶやき始めました。彼らはナザレの大工、イエスに自分たちのいのちがかかっているなどと認めたくなかったのです。人間は自ら必要を満たすことができると思い込み、傲慢になることがあります。イエス様の存在はこの思い上りを覆しました。天から下って来た古いマナは、新しい生けるパンを示しました。古いパンは肉体的な空腹を満たしました。新しいいのちのパン、イエス様は私たちの靈的な空虚を満たしてくれます。

父祖たちは荒野でマナを食べたが、死にました。しかし、いのちのパンをいただく時、私たちは復活の時に永遠のいのちが与えられることを知っています。天の御父は御子を愛する者の為に素晴らしい宴を開いてくださいます。イエス様にあずかりましょう！

讃美歌 187 主よ いのちのことばを

祈り 永遠のお父様、主イエス・キリストだけが与えることのできる食物で私たちを満たしてください。あなたの愛で満たしてください。イエス様の御名によつて。アーメン。



カリфорニア州 ブライス / スティーブン・クラーク・ゴード

11月9日（日）

神の時

聖書朗読 ヨハネの福音書 7:1~13

気をつけなさい。目をさまし、注意していなさい。その定めの時がいつだか、あなたがたは知らないからです。

マルコ 13:33

“タイミングがすべてだ”という言葉を聞いたことがあるでしょう。正にその通りです。しかし、神様が行動を起こす時こそ、今がその時だと分かります。つまり、パーフェクトタイミングです。神の時は、永遠の目的を達成するために天と地が交差する場です。

神の時は、私たちの時とは違います。ヨハネのこの章では、イエス様が神に従われる時と、イエス様の敵や友の間にある緊張状態が描かれています。イエス様は二度、『わたしの時はまだ来ていません。』とおっしゃっています。

イエス様は時に関して、周りの人々と違う見方をしておられます。神は正しい時を定めてられていました。そして、イエス様ご自身が、御父が決められた、イエス様が十字架の死と復活によって栄光を受けられると定められた時をご存じでした。ですから、イエス様の死を企む者たちがその時を変えることは不可能でした。御父だけがその定められた時を御子イエス様に明かされたのです。

もし私たちが神様の御声を聞き分けられるなら、私たちの人生は変わります。クリスチヤンとなった私たちには、聖霊によって神の時を気付くことが出来るからです。神様は私たちをいつくしみ深く支え、私たちを用いてご自身の目的を達成されます。神様の時は常にパーフェクトなのです！

聖歌 553 聖なるものとならんとて

祈り 私たちの主イエス・キリストの父なる神よ、この世の誘惑の中で、あなたの時を私たちに示してください。救い主イエス様を通して、あなたに栄光を帰すことができますように。イエス様の御名によって。アーメン。

ミシガン州 ロチェスター / クレイグ・バウマン